



AMDA社会開発機構通じ

自転車20台を ザンビアに寄贈 岡山市

に現地へ届き、保健ボランティアによる家庭訪問などに使われる。

岡山市の放置自転車は昨年度約1万1000台あり、このうち20台を修理して贈ることになった。

岡山市は25日、ザンビア共和国で結核とHIV対策を実施しているAMDA社会開発機構(北区蕃山町)を通じて、同国の首都ルサカ市保健局に自転車20台を寄贈した。9月中

同機構によると、ルサカ市では5人に1人がHIVに感染、人口の2%が結核を患っているという。結核患者

の約8割はHIVにも感染しており、両疾病への対策が求められているという。同市では財政難や人材不足か

ら、ボランティアが服薬や副作用の確認などの役割を果たしているが、これまでは主に徒歩で活動して移動手段を持っていなかった。

同日市役所で行われた贈呈式では、高谷茂男市長が「世界的に活躍しているAMDAの本拠地が岡山市にあるのは誇り。自転車を有効に使ってもらえてありがたい」と述べた。

同機構の鈴木俊介理事長は「自転車で効果的に活動することで、結核やHIVのまん延防止に役立てたい」と話した。【椋田佳代】